

# 令和 2 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	24
--------	----

担当課	都市整備課	担当課長	井上 英貴			
事業担当者	阿部 威	一次評価者	安川 和滋			
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有			
事務事業名	生活環境基盤整備事業					
予算科目	8 款 1 項 2 目					
予算事業名	生活環境基盤整備事業費					
総合計画での位置づけ (施策名)	住みよい生活環境をつくる					
事業の性格	自治事務					
法令根拠等						
事業の対象	全住民、居住区域面積A=202ha					
事業の目的	排水路施設が老朽化による破損や開渠側溝になっているため、ケガをする等の不安を抱いている。排水路を更新・補修を実施することで生活環境を向上させ町民が住みやすい環境をつくる。					
実施期間	開始年度	平成 26	年度から			
	終了年度	令和	年度まで			
事業の内容	開渠側溝を蓋付側溝へ整備し、かつ豪雨に対応するため側溝の縦断勾配や経路を見直すことで以前より流水能力を向上させる。また道路もしくは水路町有地の草刈りを行うことで、衛生面、安全面において住みやすい生活環境をつくる。					
目的達成の指標 (成果指標)	計画に沿った効率的な工事施工の達成度合い					
	区分年度	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4年度
	目標	%	100	100	100	100
	実績	%	100	100		
指標設定の考え方	工事の適正な施工により排水路機能が向上し、町民の生活利便性向上に繋がるため。計画通り効率的に施工できれば100とする。					
計画時の懸案事項	排水路整備については、近年の大雨災害に対応するためにも既存排水路の更新や機能強化が必要な箇所がある。町財政と協議しつつ排水路整備を早急に進めていく必要がある。防草対策や草刈りについては、これまでラブアースや道路愛護デーなど地域住民の協力によって維持管理されていた箇所のなかで、社会情勢の変化や高齢社会に伴い管理できなくなっている箇所も出ている。町財政と協議しつつ防草対策を進めていく。					
計画時の懸案事項への対応	排水路整備については即時対応が必要な箇所については可能な限り対応する。抜本的な排水路の見直しについては引き続き予算獲得に努める。防草対策や草刈りについては地域からの要望を踏まえつつ対応していく。					

**PLAN(計画)**

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,517 円  
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	
事務量	① 人工数	0.1	0.1	0.1	0.1
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,179	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	789	765	717	717
事業費	直接事業費	12,950	22,400	10,300	25,600
	人件費	789	765	717	717
	合計	13,739	23,165	11,017	26,317
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他			1,300	1,300
	一般財源	13,739	23,165	9,717	25,017
合計	13,739	23,165	11,017	26,317	

事業費計画

(千円)

区分/年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
目標	12,950	22,400	10,300	25,600	25,600
実績	12,855	21,949			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
排水路整備	件	2	2	1	2
		2	2		
維持補修	件	25	25	25	25
		23	32		

**DO(実施)**

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,468 円  
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	1 年度決算	2 年度予算	2 年度決算	3 年度予算	
事務量	① 人工数	0.1	0.1	0.1	0.1
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,652	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0		0
	人件費(①×②-③)	789	765	765	717
事業費	直接事業費	12,855	22,400	21,949	10,300
	人件費	789	765	765	717
	合計	13,644	23,165	22,714	11,017
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1,300
	一般財源	13,644	23,165	22,714	9,717
合計	13,644	23,165	22,714	11,017	

実施備忘録

# CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	阿部 威
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input checked="" type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		A
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		A
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)		<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)		<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し		<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止		<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E完了		<input type="checkbox"/> その他

## 4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

近年、短時間による局地的豪雨が増加し、甚大な被害を及ぼしている。地元住民の排水路整備の関心は高まっており、本事業の必要性は高く、地元の要望に基づき、生活利便性の向上を目的とし排水路整備の計画・検討を行っているため、有効性・効率性も高い。また緊急性、安全性、事業実施時期などを精査し、優先順位を決めて実施しているので公平性についても考慮されている。

## 5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

近年では毎年のように大雨警報が発令されている。排水路の老朽化、排水路が存在しない地区があるので、浸水被害を及ぼさないために排水路整備を早急に進めていく必要があるが、限られた予算の中で実施しているため進捗が遅い。また社会情勢の変化や高齢社会に伴い、今までラブアースや道路愛護デーなどで町民が維持管理に協力していた土地が管理できなくなっている。よって、適切な維持管理及び防草対策が今後の課題である。また草刈作業については地域差が大きくなっていることも課題である。

# CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	安川 和滋
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input checked="" type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		A
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		A
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

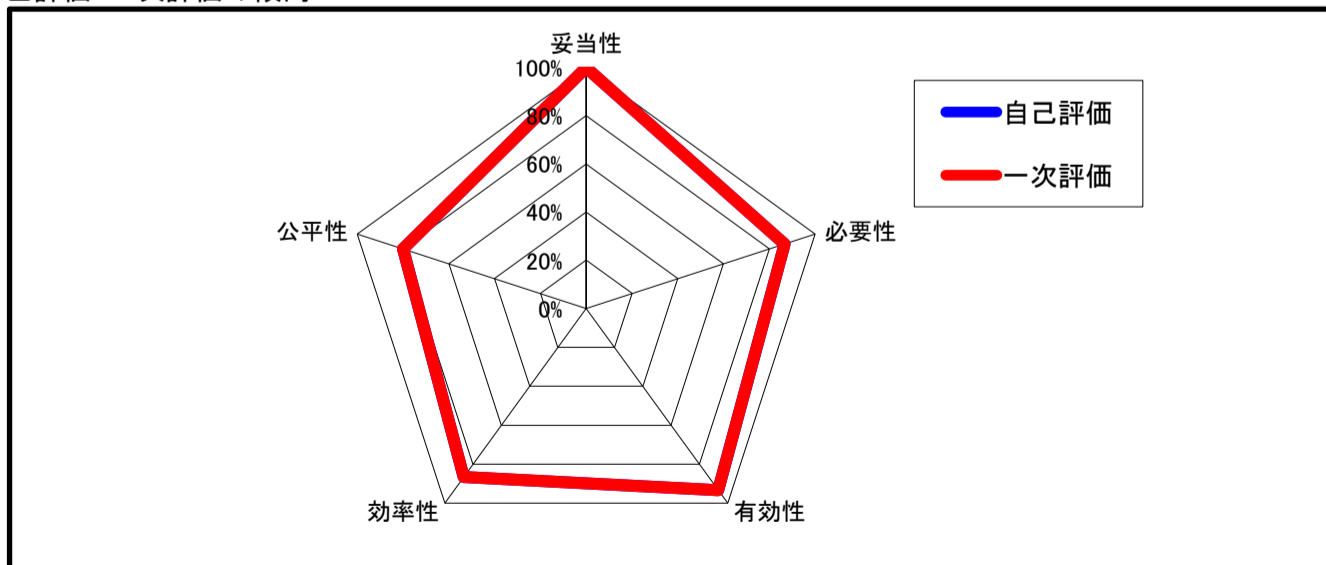
今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)	
<input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)	
<input type="checkbox"/> C見直し	
<input type="checkbox"/> D廃止	
<input type="checkbox"/> E完了	

C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

本事業は、各家庭等から排出される生活排水等を適正に排水するための整備を中心に実施しており、住民生活に直結した重要度の高い事業である。近年は、線状降水帯による短時間に集中的な豪雨が増えてきており、今後も整備需要が高まっていくと予想される。

自己評価・一次評価の傾向



# ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

井上 英貴

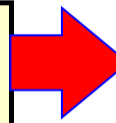
- A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

- B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

生活環境基盤整備事業で実施している整備は、町民の生活に直結している生活排水路の整備及び維持であり、町民のニーズも高い事業である。又、近年の短時間にまとまった雨量が観測される集中豪雨の影響もあり、緊急性・重要性も更に高まっている。

- C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

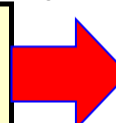
- D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。



外部評価委員会  
で評価する。  
月 日  
開催予定

- E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。



一次評価をやり  
直し、  
月 日  
までに提出すること。

評価終了  
 外部評価へ

# ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

## 外部評価

今後の方向性	<b>A・B=目標達成できたもの</b> <b>C・D=目標達成できていないもの</b>	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input checked="" type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	→	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

評価	C	<b>外部評価委員の意見</b> ・安心して生活できるよう、課題の整理や優先順位決定などによる計画整備が必要。その成果を測る指標の見直しも必要。 ・町民による草刈りなどについては、町民の声を聴きながら、参加への呼びかけを行うなど、町として、担い手確保に取り組む必要がある。
----	---	--

## 経営者会議

経営者評価	町長
-------	----

今後の方向性	<b>A・B=目標達成できたもの</b> <b>C・D=目標達成できていないもの</b>	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input checked="" type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	→	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

評価	C	<b>経営者会議の結果</b> ・町内の排水路については、経年数、状態などさまざまであり、全ての水路の調査業務を行うことは費用対効果が低いため、苦情・要望対応を主とした住民ニーズに応じた改修を実施している。 ・今後は、苦情・要望対応の施工状況を管理する施行台帳などを作成し、維持管理を行い、成果指標は、住民の苦情・要望対応の実施割合とし、ニーズに応じた改修の進捗を成果として測ることとする。 ・草刈りなど町の景観や住環境を守ることは、行政だけでは困難であるため、引き続き住民の皆さまにご理解、ご協力をお願いします。 ・今後も行政しかできない危険な箇所などは行政が実施するというように、役割分担をしながら最善の住環境づくりに努めたい。
----	---	--

<b>令和 4 年度予算要求事項(今後の取り組み)</b>	
・生活環境基盤整備事業は町民の生活と密接な生活排水路整備や草刈り等についての事業であり、町民の皆様が各区の行政区長に相談され提出いただいた苦情・要望について対応しているものが主となる。このため成果指標については、苦情・要望対応の実施割合とし、住民のニーズに応じた改修の進捗を成果とする。 ・施行台帳については、現在使用している苦情・要望台帳を加工し生活環境基盤整備のみで確認できるものを作成する。 ・草刈り等については、引き続き町民の皆様にご理解の上ご協力いただき、ラブアースや道路愛護デー等により積極的に町の住環境の整備を行っていただきたいと考えており、どうしても対応できない箇所について実施を行っていく。	